

— 編集後記 —

東京油問屋市場百周年記念誌「東京油問屋史 油商のルーツ」発刊（2000年）から15年。同組合の依頼を受けて今年の春に立ち上げた追補版の企画は、1年を経てようやく形になった。調べて見てこの15年の間に随分と研究が進み、江戸の灯明油の商流も明らかにされてきた。

本書は江戸100万都市の灯（あかり）は如何に灯されたかという観点から、前回詳しく触れられなかった「江戸十組問屋の盛衰」並びに「利根川水運と江戸地廻り経済」を新たに加え、幕府の油政策の成否・関係などを年代的な流れに沿って展開・考察している。そういう意味では、前回の「東京油問屋史」の記念誌的な側面とは一線を画し、江戸時代の油の商業史となっている。

また、「大山崎と離宮八幡宮」、「住吉大社と遠里小野」等を、コラム（夏野雅博担当）ではあるが取材を通じて光を当てた点でも、読者に新鮮さを与えることができたと思う。

この充実した「追補版」を短期間にまとめることができたのは、百周年記念誌の編集・執筆にも携わった桑野知章（前 幸書房代表取締役社長・前 月刊「油脂」編集長、現 相談役）の豊富な知識と文献調査に基づく執筆に依るところが大きい。

本追補版が東京油問屋市場の歴史に更なる厚みを増し、温故知新の糧になればと願って止まない。

幸書房 代表取締役社長
夏野雅博

<東京油問屋史 追補版>

百万都市

江戸の灯を支えた油問屋

HP公開 平成28年6月30日

公開元：東京油問屋市場

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-12

TEL03-3666-4356

制作：株式会社 幸書房

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-7

TEL03-3512-0165

<転載禁止>